

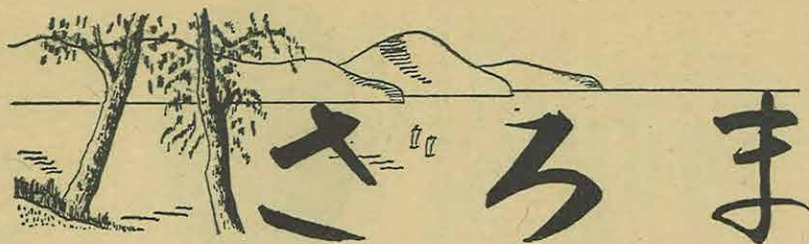
世帯数 2,842

人口 12,609

男 6,312

女 6,297

10月31日現在人口



新年を迎えて

佐呂間町長 船木長一郎



明けましておめでとございます。新春を迎えるに当り、町民各位の御健康を念願し御多幸を祈念してやみません。顧りみて昨年は、一昨年の冷害に引続き水稲において



は多額な被害を受けましたことは誠に遺憾であり、更に町内第二の産業である林業は、経済不振のため消流面が思う様に延びず苦境の年であり、また漁業も帆立漁獲の禁漁、鮭漁の凶漁で平年時の六〇パーセント程度の生産額であり、全般的に心淋しい年でありましたし又町政推進の原動力である財政も、全国的な経済不況によつて交付税が減収したことや、町税についても延率が悪く町民各位の経済状況同様苦しい困難な年でありました、これら過ぎ去つた現象を考えると、資源に乏しく、国内自給自足率が極めて低く、諸外国より原料輸入によつて各生産を余儀なくせざるを得ない現況であり、従つて経済力の弱さ、底辺の浅い経済基盤が背景であることに起因するものと考え、自覚を新にし消費生活に反省を加へ、貯蓄心の向揚に務めない限り、経済の進展は期待できず国民生活の恒久的安定、公共、社会福祉事業施策の発展も望まれないものと思ひます。国に於ても既に報道されている如く、昭和四十一年度予算編成に当つては将来の経済力の蓄積を主眼とした、所得税の大巾な減税と景気対策として国民より借入による所謂公債発行を財源とした公共事業の急増を企図しておりますが政策の良否は別として、インフレの危機すら感ぜられる重大な年であり、主権者である国民自体が不況を克服するための精進こそ鍵であります。

農業は、畑作の振興が問題点でありましたが、農家各位の自覚と関係機関の努力によつて、冷害凶作より脱皮する農業として、酪農に切替を続け、過去十年間で乳牛四千頭の増加を見るに及び、昨年九月現在で四千六百余頭を算え、乳畜産物の販売高も農産に匹敵する現況であり、今後、これら貴重な基盤を安定化するに必要な、牧草の増産、質的改善に務め、収容力の増大を図り、結論的には生産原価の引下による農家所得の増大に寄与致したく存じており、又過去数年間に於いて、四百余戸の離農は精神的にも大きな打撃でありましたが反面、農業協同組合の販売取扱高は十年以前の約三倍に相当し平年時においては八億円を越えるものと推算し決して悲観すべき状況ではないと思ひます。林業は、戦時中の乱伐により資源の不足、質の低下によつて現有工場能力が半分以上稼働していない状況であります、国有林を始め町有林を合算して既に四千町歩及び造林地を有し、更に今後経理的に植林地の増加が期待され、間近に伐採を控へ、林業者のみならず町民の経済に及ぼす好影響は今から期待してよいものと確信しております。漁業に、おいても永い間の努力により、昨春より帆立貝の人工育成が企業化され、第一年次を経過しましたが成績は予想外に良好でありまして、自然的有利性を活用すれば数年後の漁獲高は、およそ三倍位が確保され、沿岸漁民の生活が安定されるものと存じております。

以上の様に積年の労苦が稔つてきておりこの結果として、中小企業者に与える好影響も併せ誠に御同慶にたえません。斯様な将来性は、自然的に有為な後継者も在町するものと考え更によりよい発展が約束されるものと存じます。町政に致しましては各位の協力を賜り乍ら、御要請に応へられないのも要は自主財源である町税、即ち町民の経済基盤が余りにも弱しからであり、町民経済力が増大し安定してまいりますと町財政の規模も進展し、産業投資、教育、道路、社会施設等々の事業も満たされてきますことは御了解いただけると存じます。お互がより緊密に話合つて、健康で将来の明るい希望を早く効果的に実現する様に精進を致しましょう。

初酔いの 心のスキに 交通事故

酔っぱらい運転の完全防止



年頭のことば

議長 山元 邦良



町民の皆様、あけまして、おめでとございます。

希望にあふれる一九六六年の新春を、みなさまと共に祝いできま

すことは、このうえない、しあわせと存ずる次第であります。

私は、昨年の町議会議員選挙後の議会において、図らずも議長に推せんされ、その重責を負うことになりました。

豊かな躍進途上の佐呂間町を考えると、議会を代表してその一端を担う責任の重大さを、深く痛感いたします。

就任いたしました以上は、この新年を機会に、なお一層の心構えを新にして、よりよき郷土佐呂間町建設のため最善の努力を尽す決意でございますので、何卒よろしく御支援の程をお願い申し上げます。

さて、過ぎた一年間を振り返つてみますと、明治三十七年本町に最初の鉄があらされてより、本日迄永々とその伝統が引きつがれ町民各位のたゆまざる努力の結果により開基七〇周年、開町五〇周年、町村合併一〇年の大成果の年を見るに至り、同時に狭隘のため、住民に不利不便をかけて参りました役場庁舎が、関係各位の御高配によ

り新築落成を見ましたことは、町民の福祉増進の根源として、その任務を果し得るものと確信いたす次第であります。

又本町の基幹産業であります農業は、例年の毎く災害を受け、特に昨年の水稲については、皆無に近い打撃を受けたことは誠に残念であります。

対策の酪農振興については、農業構造改善事業で実施いたします草地牧野の造成と併せ、本町乳牛増殖も計画以上の飼養頭数実績であり、喜びに堪えないところであります。

教育においても、中学校統合に伴う佐呂間中学校一部増築完成と若里小学校改築落成をみましたことは、本町に於ける教育行政のしめるウエイトも大きく、計画通りの実施をみたところであります。

又、道路、橋梁の整備等についても、予定通りの完成が出来ましたことは、町民の皆様方の御理解と御協力によるものでありまして、心から感謝を申し上げます。

町政の方針も、本町経済の合理化に配慮し、強力な施策を進めなければならぬと痛感いたし、これが今後における我々地方自治に携わるものとしての使命であらうと強く決意を致して居ります。

しかし、何と申しまして、町民の皆様方の、絶大なる御協力なくしては解決出来得ないものであります。

私達、議会当事者は、議会の使命

達成と町村自治の昂揚に一層の努力を傾注し、住民福祉の質的向上と、教育の発展のために寄与するよう、町民各位とともに邁進したいと存じますので、今後よろしく御指導、御鞭撻を賜りますよう、お願い致します。

達成と町村自治の昂揚に一層の努力を傾注し、住民福祉の質的向上と、教育の発展のために寄与するよう、町民各位とともに邁進したいと存じますので、今後よろしく御指導、御鞭撻を賜りますよう、お願い致します。

新年おめでとうございます。希望に輝く一九六六年の新春を迎え、町民のみなさまの御幸福と御繁栄を心から祈念いたします。

わたしは、昨年十月二十日付で前教育長鈴木諄氏の任期満了退職されるに伴い、後任としてその職を継ぐことに相成りました。

もとより、教育行政には全くの素人であつて、到底その器ではありませんが、今後皆様のご指導を戴いてこの道に専念し、その職責

を果して参りたいと存じますのでどうぞ倍旧のご支援とご鞭撻を切にお願ひ申し上げます。

教育は、国家自治体各個人の発展、隆昌進歩の根幹であることは今更申し上げるまでもありません。本町四十年度の予算をみましても総予算のうち約二三％の七、五〇〇万円を占めておりますので、私共教育行政を担当するものの、職責の重大さを痛感し、日夜責任の遂行に努めている次第であります。

昨年本町の教育方針として「教

育の振興を強化し、効率的な学業の場を整備する」に基き、三月末日をもつて知来、富武士、若里中学校の三校を廃止、佐呂間中学校に統合し、若里校生徒は昨年四月一日より、知来、富武士校生徒は佐呂間中学校増築工事完了後の、本年四月一日より実質統合することになつております。この三校統合に伴う、佐呂間中学校校舎増築第一期工事（二、〇二八万円）は十二月五日に完成し、また危険校舎であつた若里小学校新築工事（一、三〇〇万円）は、十二月二十日に完成しており、そのほか全中学校生徒の機

腰掛の整備、校舎の改修、中学校の技術、家庭科の教室設備等を逐次計画どおりすすめてきております。

本年は才二期工事として、佐呂間中学校屋体等の増築、四十二年に幌若中学校を廃止し、浜佐呂間中学校に統合するので、これに伴う校舎増築、そのほか、町内に二

され、新しく迎えた昭和四十一年がもつとも希望に満ち溢れる意義ある年であるように念願してやみません。

年頭にあたり、簡単ではありますが、所信の一端を申し上げ、皆様方の御多幸を心から、お祈り致しまして新年の御挨拶といたします。

育の振興を強化し、効率的な学業の場を整備する」に基き、三月末日をもつて知来、富武士、若里中学校の三校を廃止、佐呂間中学校に統合し、若里校生徒は昨年四月一日より、知来、富武士校生徒は佐呂間中学校増築工事完了後の、本年四月一日より実質統合することになつております。この三校統合に伴う、佐呂間中学校校舎増築第一期工事（二、〇二八万円）は十二月五日に完成し、また危険校舎であつた若里小学校新築工事（一、三〇〇万円）は、十二月二十日に完成しており、そのほか全中学校生徒の機

腰掛の整備、校舎の改修、中学校の技術、家庭科の教室設備等を逐次計画どおりすすめてきております。

本年は才二期工事として、佐呂間中学校屋体等の増築、四十二年に幌若中学校を廃止し、浜佐呂間中学校に統合するので、これに伴う校舎増築、そのほか、町内に二

校舎増築、そのほか、町内に二

校舎増築、そのほか、町内に二

校舎増築、そのほか、町内に二

校舎増築、そのほか、町内に二

校舎増築、そのほか、町内に二

新年のごあいさつ

教育長 相田 政之

校の危険校舎がありますので、その新築、及び各校のグラウンド整備計画等が要求されております。このほかに、

社会教育関係においては青少年の健全な育成と産業後継者の養成に関する事業を特に留意していき

たいと思います。このようにみてきますと、本年も教育費の増嵩は町財政の上に、より大きな負担となり予算面においても、更に大きな比率を示すようになるものと思ひます。これが解決は、教育が義務である以上、国や道からの補助を大巾に引き上げさせ予算を効率的に使用することが最も肝要と思われま

す。私としては学校施設整備等についての基本方針を

才一、教育的であること、才二は計画的であること、将来をよく見透して長期年次計画樹立の上実施にすむこと、才三は、町財政とにらみ合わせ町事業との関連を考慮にいれあまり無理がかからないようにすること、才四は地域が広く学校数も多い本町としては各地域学校間のバランスも考慮にいれること等でありま

す。年頭にあたりまして、所感の一端を申し上げ、新年のご挨拶と致します。

◎農業基本調査が行われます
農業基本調査が今年から二月一日に変更実施されます。

謹賀新年

昭和四十一年元旦



町長	船木 長一郎
助役	土田 正
収入役	井上 米蔵
教育長	相田 政之
総務部長	仲川 卓美
庶務	
課長	幸松 良茂
第一係長	藤岡 正重
第二係長	河本 孝治
第一兼第二係	宇佐美 不二夫
技師	大深 春雄
第一兼第二係	藤田 慎子
"	桐山 三津代
"	林 礼子
"	杉本 俊子
"	杉野 孝子
"	小本 恵子
公務補	上ノ島 作太郎
事務生	
財政課	
課長	岸本 勲
財務係長	川崎 謹一
財務兼会計係	宮田 憲彦
財務係	千葉 裕子
財務係長	長沢 徹
林務係	安藤 貢
"	小川 正夫
"	山内 忠義
民生課	
課長	田中 好一
住民係長	中村 一雄

農家労働力対策事業始まる

佐呂間町農業委員会の事業の一
つとして、農家労働力対策事業が
開始されましたのでその内容をお
知らせします。

この事業を行うのは、国が指定
した農業委員会、道内では四三市
町市、網走支庁管内では佐呂間、
美幌、小清水、生田原、津別、清
里の六町農業委員会が実施するこ
とに決まりました。

この事業の特色は、国、道、支
庁段階では協議会を設置しますが
市町村の区域では協議会を設置し
ないで、農家約一四〇戸に一名の
連絡員を置くことになっているこ
とです。

農家労働力対策事業の主な仕事
は次のとおりです。

- 1、農家世帯員の農機転取、海
外移住等の農業労働力問題の
啓発、指導、連絡
- 2、農家の就業動向および将来
の見通しについての調査分析
- 3、農家の就業構造の改善対策
に関連する調査

この事業を行うことにより農業
基幹労働力の確保および農業労働
力の合理的調整を図りつつ、他産
業への就業または海外への移住を
円滑化するなど、農家の就業構造
を改善しようとするものです。

前記の連絡員は、区域内農家を
対象に次のような相談活動を行な
います。

- 1、労働関係行政機関の機構およ
びその利用方法、労働市切の動
向、社会保険、家族協定農業、
農業後継者の養成確保等につい

ての情報を提供し、農家の就業
構造の改善のための啓発指導を
行なう。

- 2、農家世帯員の転取、出稼また
は海外移住の希望状況ならびに
当該農家の農業経営および生活
の状況、季節的な農業労働力の
需要または供給の希望状況等を
調査し、必要に応じてリストを
作成、整備する。
- 3、農家の就業構造の改善に関す
る次の相談、助言または援助を
行なう。

ア、転取を希望する者に対して
取業安定所の行なう取業相談
の予備的相談その他の相談

イ、出稼を希望する者または出
稼留守家族に対し取業安定所
の行なう職業相談の予備的相
談その他の相談

ウ、家族協定農業の実施に関す
る相談

エ、後継者確保の相談その他の
農業後継者の養成確保に関す
る相談

オ、海外移住を希望する者に対
し、必要な相談

カ、離農者に対し、離農者の財
産処分および資金調達につい
ての助言指導

キ、季節的な農業労働力の地域
間交流を円滑化するための連
絡調整に必要な相談活動

ク、農業資金に関する相談
ケ、省力的農業技術の導入につ
いて必要な水および農地農地
等の権利関係の調整等につい
ての相談

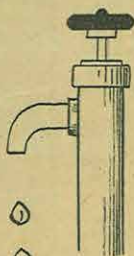
コ、農業後継者の集団活動の援
助

サ、その他農家の就業構造の改
善について必要な相談、助言
または援助

連絡員は以上のことを農業委員
会の指示を受け実施します。農家
の皆さんの積極的な利用を期待し
ます。

なお地区別連絡員予定者の名前
をお知らせします。

- | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---------------|----------------|-------|--------|------|-------|-------|------------|-------|-----|-------|----|------|
| 大成、共立、啓生、渡部、繁 | 大木、中国、川西、平戸、康 | 武士、朝日、富丘、川又、利夫 | 福田、幸教 | 久米田、鶴夫 | 中村、正 | 佐呂間周辺 | 知来、仁倉 | 浜佐呂間、幌岩、浪速 | 鈴木、三蔵 | 富武士 | 金光、秀雄 | 若里 | 橋本、了 |
|---------------|---------------|----------------|-------|--------|------|-------|-------|------------|-------|-----|-------|----|------|



水道使用のお願い

水道事業の運営につきましては、
清浄で豊富な、水の供給が継続し
て行なえる様、日夜、努力してお
ります。これからの厳寒にむかひ
ますので、水道の取扱いには、充
分気を使つて戴きたいと思ひます

●水道使用料金について

メーター制の実施により、毎月
検針の結果に基づき、水道料金
の測定をして参りましたが、十
二月から四月迄は、使用量の検
針が、積雪及凍結等のため出来

佐呂間高校定時制

夜間宿泊所を新設

◎ 仍く青年に、より学習の機会を与えるため

佐呂間高校定時制夜間授業のため
に通う生徒は、佐呂間市街と
湧網沿線の一部に限られて、若
佐、栄方面や富武士で働いてい
る青年にはほとんどその機会が
与えられず、その上冬
季節は更に困難が加わ
つて学業を途中で断念
します。

する者も多くありまし
た。このため町では、
これら勤労青年の勉強
の便を少しでもよくし、また深
夜下校する女子生徒等の不安を
解消させるために夜間宿泊所を
新築し今春、才三学期より開設
することになりました。これに

よつて、全町いづれの地区の勤
労青年も午後六時に登校して授
業を受け、その晩は宿泊所に泊
まつて規律ある学習と睡眠をと
り、翌朝始発のバス、列車等に
て帰宅して、それらの職場で
仕事に就くことができるようにな
ります。

ませんので、次の方法で使用料
金計算を致します。

- ① 原則的には、用途別の基本料金
の水量を以つて、その月の分を
計算します
- ② 毎月の使用水量が、基本料金の
水量を著しく越える利用者につ
いては、従来の使用水量の実績
を参考にして水量を認定し、そ
の月の使用料金を計算致します
- ③ 四月検針の際の水量が、各月の
基本水量の合計より、超えた水
量については、四月分の料金計
算の際、精算致します。

●水栓の使い方

外排の水栓（風呂とか、その他
配管をしているもの）を使用す
る方は、特に次の点に注意して
下さい。

- ① 水を出すとき
冬期間は前部ハンドルを全開し

後部ハンドルを使用して下さい。
蛇口から糸を洩くように水
を出して使いますと、水栓の最
下部にある排水装置からドンド
ン漏水し、又揚水管の中にダン
ダン水が溜つて、凍る恐れがあ
ります。

- ② 水を止める時
後部ハンドルを軽く締めたり、
半締めにして置くと水栓の下部
から沢山の漏水をしたり、凍結
の原因になります。
- ③ 凍つた時
毎朝ハンドルの堅いのはネジに
水滴がついて、それが凍り付い
ているためですから、上部金具
に熱い蒸したタオルを当てるか、
又は乾いたタオルを巻いて、そ
の上から熱湯をそいで下さい
どうしても凍つて水の出ない時
は、工営課水道係に御連絡して
下さい。

住民係		渡部 玲子
社会係長		横田 八重子
社会係		吉野 一利
社会係		佐藤 敬介
保健衛生係長		山本 良一
保健衛生係		市川 弘
保健衛生係		有光 乙二
保健衛生係		関東 圭子
課 長		田川 敏之
賦課係長		玉井 清
賦課係		下淵 優一
賦課係		山本 芳雄
賦課係		清原 伸一
徴収係長		川 滝
徴収係		十 亀
徴収係		小西 ふじ子
課 長		大 島
畜政係長		武田 時男
畜政係		西田 昭夫
畜政係		大沢 孝司
農政兼農業構造改善係長		諸岡 照男
農業構造改善兼農政係		田中 利行
技師補		安藤 嘉朗
農政係		片平 久義
農政係		幸松 博義
拓殖商工係長兼水産係長		相 沢
拓殖商工兼水産係		田町 幸夫
農政兼畜政兼拓殖商工係		中原 和子
課 長		皆川 秀一
土木係長		上城 正光
土木係		越 智
建築係長		芋毛 武男

休み中は、学校生活を離れ、家庭を中心に家族、近隣の友人と過ごすことが多くなり、そのため、ややもすれば、生活も不規則になりやすく、健康や安全にあやまちを生じやすくなります。

この点特に注意し指導しましょう

① 家族全体で、年末年始を中心にした生活計画と学習、遊び、手伝いなどの調和のとれた生活の予定表を作り、家族全体で守り、よい生活の習慣や節度を養うようにしましょう。

② 誰と、何処で、なにをして遊んでいるかについては、常に知っておくようにし、帰宅の時間は厳守させるようにしましょう。

③ 子供の生活の周囲には、多くの危険が存在しています。遊び場の状況、危険な箇所の発見管理にため、子供を事故から守ると共に、どのような事が危険なのか、どうすればそれを避

けることが出来るかなどについて具体的実感的におし、危険に対する抵抗力も養っていくようにしたいものです

④ 冬のスポーツによる事故も毎年多く発生します。路上や屋根下での遊びをさせ、スキー場やスケート場での混雑に伴う事故が多いので、係員の指示に従い規則を守つて事故をなくするようにしましょう。スポーツ用具の点検をしつかりしてから使うようにしましょう。

⑤ 受験勉強などで夜ふかしをする事も多い時期ですが、薬を用いたり、炭火などによる中毒事故また火の不始末による事故などもありますので、健康と安全には充分注意し、あたゝかい励ましとともにこまかな配慮がほしいものです。

⑥ この時期に飲酒、喫煙の悪習を身に付けることが多く、これから非行に入る例が多いのでこの点には特に注意するようにしましょう。

冬体みの生活指導

◎町史発刊について

町史の編纂については客年来、町内の皆さん並に関係機関の御協力を得て、漸く発刊の段階にこぎつけた訳ですが、これの御申込に應じて年内に配布の予定でございましたが、印刷所の都合で年内に出来ず年明けになってしまいました。近日常に配本致しますので御了承

◎農業学園生冬期合宿教育はじまる

四十年から全道四十の農業学園の開校と同時に網走管内五ヶ市町の中に本町も認可を受け開校されました。第一期生はそれぞれ初代の学園づくりと将来の増進経営への後継者

◎全道乳質改善共励会

第一位入賞

道では毎年、優れた原料乳を生産する、施設、搾乳衛生、乳質管



理等について、全道共励会を実施しておりますが、本年で十四回目を迎えました。

今年度は地方共励会で選抜された全道七〇ヶ市町村、一九、六〇〇戸が参加しましたが、佐呂間町は三十九年度に引き続き、全道優秀第一位又、牛乳生産では、全道第二位に入賞して去る、四十年十一月三十日、札幌市に於て表彰されました。

この様に当町の酪農は全道的に優秀であります、これを機に益々良

として懸命の学習をつづけておりますが、一学年の給仕上げである冬期合宿三十日間を目前に控え、今二学年進学と新しく入学してくる学園生への準備にいま余念がありません。



冬期合宿期間

昭和四十一年一月十七日から
場所 福祉会館

質な乳量生産に、御精励されます様お願い致します



◎職業相談

一月第二(六日)第四(二十七日) 木曜日
場所 福祉会館(役場前)

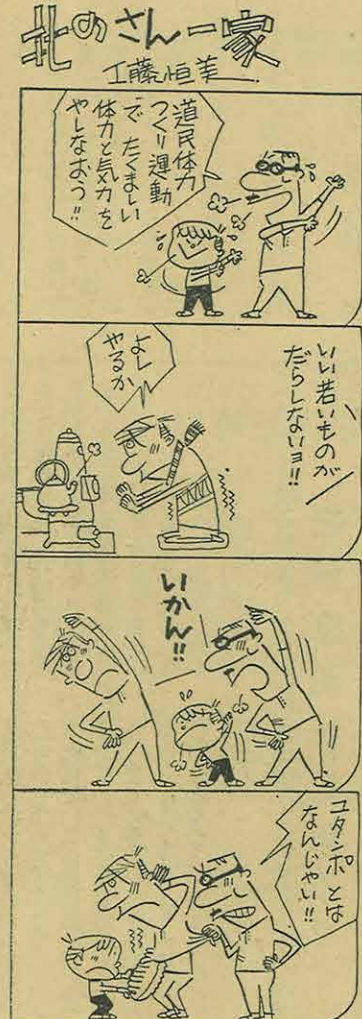
農業学園生徒募集のお知らせ

昭和四十一年度佐呂間町農業学園生を左記により募集します。

記

- 一、入学願書受付
二月一日から二十八日迄
- 二、入学資格
十八才未満の男女
- 三、募集人員
三十名
- 四、入学日
四月一日
- 五、入学手続
☆入学金及び授業料は要りませんが、書類選考の上入学を許可します。
☆許可された方は修学手帳を交付されます。
☆入学願書申込みは左の所へ

◎北海道常呂郡佐呂間町農業学園
(佐呂間町教育委員会内)



水道係長	越智 義勝	農業委員会	宮崎 正義	教育委員会	矢口 豊市	社会教育係	安藤 雄治	社会教育主事	高橋 利治	技 工	茅山 照夫	総務係	大塚 二美子	企画調査室	佐藤 初太郎	室長主任技師	木下 元二	会計職員	門崎 和子	若 佐 支 所	佐藤 富男	戸籍係長	野島 倫則	支 所 係	福島 和子	出張所主任	小野 公啓	水道係	海老名 登	工 営 課	嘉村 孝一	技 師	川尻 正	技師補	瀬戸 竹安		今野 敏夫		谷口 東洋和
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-----	-------	-----	--------	-------	--------	--------	-------	------	-------	---------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-------	-------	-------	-----	------	-----	-------	--	-------	--	--------